

長寿第 330 号
令和元年5月27日

各関係団体 御中

岡山県保健福祉部長寿社会課長
(公 印 省 略)

VR（仮想現実）システムを活用した認知症出前研修会
の実施について

平素から本県の保健福祉行政に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、認知症に関する相談支援等にあたっておられる方々に、認知症に対する理解をより一層深めていただくため、昨年度より、VR（仮想現実）機材を用いた認知症の中核症状等を疑似体験できる出前研修会を実施しています。今年度も引き続き実施することになりましたので、御案内いたします。出前研修会の開催要件及び注意事項を申込書の裏面に記載しておりますので、詳細はそちらで御確認ください。お手数ですが、貴会会員様への周知をお願いします。

なお、出前研修会の開催を希望される場合は、別添の申込書を当課あてに提出（FAXまたは郵送）願います。ご不明な点等ありましたら、下記担当までお問い合わせください。出前研修会の案内チラシ及び申込書は、当課ホームページにも掲載しておりますので、御活用ください。よろしくお願いいたします。

<申込及びお問い合わせ先>

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県保健福祉部長寿社会課

担当：池畠・近藤

TEL：086-226-7326

FAX：086-224-2215



VRシステムを活用した

参加費無料

認知症出前研修会

を実施しています!!

認知症の方の介護をされているご家族やボランティアの方、介護福祉施設等の職員さんの心理的な負担を少しでも軽くできないかと、いろいろご苦労されていませんか。

岡山県では、介護福祉施設等の管理者、介護家族、ボランティア、医療系・福祉系の学生、市町村職員の方々に、VR（仮想現実）機材を活用して、認知症の方の世界を疑似体験していただき、認知症に対する理解をより深めていただくことを目的とした出前研修会を実施しています。参加された方々にVRを体験していただくことで、当事者の方への支援のあり方や、職員研修等の構成や内容等を見直していただくきっかけとしていただけたら幸いです。当研修会は、当課の職員が指定された現地に出張して実施します。



対 象

介護福祉施設等の管理者（責任者・リーダー・主任等）

介護家族、認知症支援ボランティア、医療系・福祉系の学生、市町村職員 等

※対象に該当するかどうかは、下記問い合わせ先までご連絡ください。



開催時期

令和元年6月～令和2年3月（土・日・祝除く）※随時受付中



開催形態

受講者数は10名程度、グループワークを含め120分



内 容

- ・認知症当事者の方の体験談や証言を元に作成されたコンテンツで認知症の中核症状を疑似体験してもらいます。
- ・VRによる疑似体験後は、グループワークでさらに共感や理解を深めていただき、認知症の方に優しい体制整備の推進に向けた取り組みについて話し合ってください。

VR機材のみの貸し出しは行っておりません。
なお、介護福祉施設等の職員研修として実施することはできませんので、ご了承ください。



費 用

無料

※ただし、除菌シート等の消毒物品はご準備願います。



申込方法

申込書にご記入の上、ファックス又は郵送にてお送りください。

こちらから、日程や内容等について確認の連絡をいたします。

※職員派遣の都合上、なるべく開催希望時期の3週間までにお申し込みください。

※ご希望の日時が他の施設の開催日と重複している場合や、こちらと日程調整がつかない場合、開催日時を変更していただく場合があります。ご理解ご協力をお願いします。



● ● お問合せ先 ● ●

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県保健福祉部 長寿社会課 長寿社会企画班

T E L 086-226-7326 F A X 086-224-2215

VR 認知症出前研修会 申込書

○下記の開催要件を参考に記入してください。

		申込日： 年 月 日	
団体（施設）名			
連絡先	住所： TEL： () FAX： () E-mail：		
担当者	部署： 職名： 氏名：		
対象者	（記載例：上級サポーター、認知症カフェボランティアスタッフ、施設管理者） （↓該当する年代を○で囲んでください。複数選択可） 年代：10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上 大まかな男女構成割合：男性 割：女性 割		
研修会位置づけ	（記載例：認知症カフェ利用者の対応のため。施設リーダーの資質向上のため。）		
参加者予定数	名		
開催会場	会場（施設）名： 部 屋 名： （収容人数： 名） 住 所：		
会場の駐車場の有無 （ない場合：代替駐車場の場所）		☐ あり ☐ なし（場所： ）	
▼必ず準備していただきたい物品 ☐ 除菌シートもしくは ☐ ウェットティッシュ ▼準備できる物品（依頼者側で準備可能な物品があれば ☒ を入れてください） ☐ スクリーン（会場に白っぽい壁があれば代用可です） ☐ 延長コード ☐ ホワイトボード ☐ ワイヤレスマイク ☐ 机・テーブル・椅子 ☐ ゴミ袋			
	第1希望	第2希望	第3希望
希望日時	令和 年 月 日 : ~ :	令和 年 月 日 : ~ :	令和 年 月 日 : ~ :

※まず、裏面の【開催要件・注意事項】の全てを充たしていることを御確認ください。

※希望日時は、第3希望までお書きください。

休日や17時以降の開催、120分の時間確保ができない場合など、裏面の【開催要件・注意事項】を充たさない場合は事前に御相談ください。但し、御要望に添えない場合がありますので御了承ください。

【開催要件・注意事項】

1. 医療・介護サービス事業所管理者が従事者（職員）に対して実施しなければならない職員研修ではないこと（職員研修として実施することはできませんので、御了承ください）。
2. 対象者は中学生（13歳）以上とする。
3. 参加者数は10名程度とすること。
4. 開催時間を120分確保できること（平日の17時までに終了する日程で御計画ください）。
5. グループワークを必須とすること。
6. VR体験前と体験後にアンケート調査を実施すること。
7. VR機材のみの貸し出しは不可とする。
8. 研修会の会場が準備できること。
9. 無料の駐車場を確保できること。
10. 宗教の布教活動、選挙活動、営利目的の研修会開催ではないこと。

※特に研修会に盛り込んで欲しい内容や体験御希望のコンテンツあれば御記載ください。

＜希望する内容＞

・
・
・

＜希望するコンテンツ＞

令和元年5月1日現在、体験可能なコンテンツは下記一覧のとおりです。

体験希望のコンテンツがあれば、下記空欄に「No.」の数字を御記載ください。研修会では、3種類までのコンテンツを体験することができます。但し、No.「4」の「Re connect～結いなおし～丹野智史物語」を体験希望の場合は、2種類までとなります。特に希望がない場合（お任せの場合）は、空欄には斜線を引いておいてください。

--	--	--

バーチャルリアリティ（VR）コンテンツ一覧

No	タイトル	内 容
1	私をどうするのですか	視空間の失認の症状を体験できるコンテンツ。車から降りる、ただそれだけの動作がビルの上から降ろされるように見える怖さを体験するコンテンツ。本人の視点の大切さを再認識できるコンテンツ。
2	ここはどこですか	電車に乗っていてふとどこで降りるのかわからなくなる状況を体験できるコンテンツ。
3	レビー小体病～幻視編～	レビー小体病認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。
4	Re connect～結いなおし～ （丹野智史物語）	39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野智史さんがモデルのコンテンツ。認知症と診断され、落ち込み、鬱病を経て前向きに立ち直るまで、家族、会社、友人がどのように彼を支えたのかを追体験できるコンテンツ。
5	やすおじいちゃん物語	認知症と診断されたおじいちゃんを取り巻く、家族の対応を2パターンに分けておじいちゃんの視点で体験できるコンテンツ。パターン1は、物忘れが始まったおじいちゃんを責めてしまう家族。パターン2は、優しく受け止める家族。1と2でおじいちゃんの周辺症状はどう変わっていくかを体験できるコンテンツ。
6	やすおじいちゃんの息子物語 （やすおじいちゃん物語続編）	やすおじいちゃんを責めてしまう家族も、優しく受け止める家族もおじいちゃんへの愛情は変わらないはず。なぜ責めてしまったのか、なぜ優しく受け止められたのかの理由を息子を取り巻く社会背景（息子の職場の認知症に対する理解度、近所の協力体制など）に重ねて息子の視点で体験できるコンテンツ。

（※株式会社シルバーウッド提供：無断転用禁止）